

2007年年頭 ごあいさつ



市長 田村正彦
たむらまさひこ

市民の皆さん、明けましておめでとうございます。新たな期待と希望を胸に、平成19年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。昨年は、行政運営のよりどころとなる市民憲章や花・鳥・木の制定、まちづくりの根幹となる前期総合計画、行革プランなど各種計画の策定、また社会福祉協議会をはじめ各種公共的団体も統合され、まちづくりが進行中であります。その間、在任特例期間の満了による議会議員選挙や農業委員選挙が行われ、新議員、新委員が誕生しております。

合併して1年4カ月が経過し、今年は真に八幡平市の船出の年であると思っております。今、地方自治体を取り巻く環境は、地方分権や三位一体改革など、大きな変革の時代を迎え、その変化に適切に対応しながら、住民福祉の維持、向上に一層の努力が必要と、あらためて感じております。新年度に取り組む主な事業を紹介すると、公共下水道、農業集落排水事業は、工事を継続します。道路関係は、市道岩手山一号線、日影山蟹沢線など多くの道路改良工事を、商工関係では、盛岡北部工業

団地整備を予定しております。農業関係は、雪冷房りなど一環培養苗木生産施設整備や道の駅にしね増築工事を、環境関係では、最終処分場施設整備に着手してまいります。消防関係は、安代防災センターの新築、教育関係は、小中学校コンピューター整備、松尾地区体育館大規模改修などを予定しています。明るく豊かな八幡平市の建設に向けて、鋭意頑張っておりますので、皆さんの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。



議長 瀬川健則
せがわたのり

市議会を代表し、謹んで初春のお喜びを申し上げます。市民の皆さんにおかれましては、夢と希望に満ちた新年をお迎えになられたこと、心よりお祝い申し上げます。日ごろは市議会活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。八幡平市が誕生して1年余りが経過しました。昨年11月には市民憲章や市の花・鳥・木が制定されるなど、この1年間で、新市の一体感がさらに醸成されました。また、八幡平幹部交番や八幡平消防署の昇格により、市

民の暮らしと安全を守る体制の充実が図られたほか、社会福祉協議会をはじめとする各種団体も、新たなスタートを切りました。さらに、八幡平農業改良普及センターや市農業振興支援センターの新設、市観光協会の発足など、「農と輝の大地」の実現に向け、順調に歩み始めました。市議会としても、在任特例期間の満了に伴う市議会議員選挙が昨年4月に行われました。新人4人を含む26人の新体制となり、議会活動の活性化を図るための取り組みとし

て、6月から会派制度を導入。9月定例会の一般質問において、会派代表質問を実施するなど、新市発展に向けて活発な活動を行ってまいります。今後とも、市民の皆さんとの連携を一層密にしながら、市民の皆さんの負託にこたえるよう、全議員が一丸となって議会活動に取り組んでまいります。八幡平市のさらなる発展と、市民の皆さんがこの1年健康に過ごされ、ますますご活躍されますことを心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

